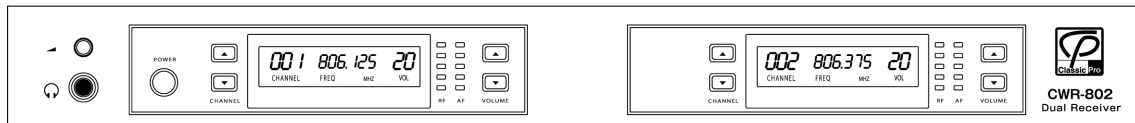




CWR802

DIVERSITY WIRELESS RECEIVER
UHFデュアルワイヤレスレシーバー



USER'S MANUAL 日本語版



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CLASSIC PRO UHF デュアルワイヤレスレシーバーCWR802 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますのでお読みになった後は大切に保管してください。

使用上のご注意

- この取扱説明書にしたがって操作してください。
- 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
- 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動および輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
- 直射日光下やアンプ、ラジエーターの側など高温になりやすい場所、塵、埃の多い場所、過度に湿度の高い場所、振動の多い場所での保管、使用は避けてください。
- 異常な音、またはにおいが発生した際には電源を切り、販売店または正規代理店までお問い合わせください。
- 液漏れによる故障を避けるため、長期間使用されない場合は電池を抜いて保管してください。
- 使用後の電池を破棄する際は地域の環境規則に従ってください。
- 修理が必要なときには、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

電波法について

- トランスミッターやアンテナの改造、及び法律に基づく表示を改変、削除しないでください。
- 国内で販売されているトランスミッターは国内専用ですので、電波法の異なる海外では使用できません。

セット内容

レシーバー(CWR802)

電源アダプター

特徴

- 電波の送受信にはB帯 16ch 対応の PLL シンセサイザー方式を採用。フェイズロックド・ループ (PLL) 回路により障害のないチャンネルを容易に選択できます。
- 高感度、かつ低ノイズで良質な音質の送受信を実現。

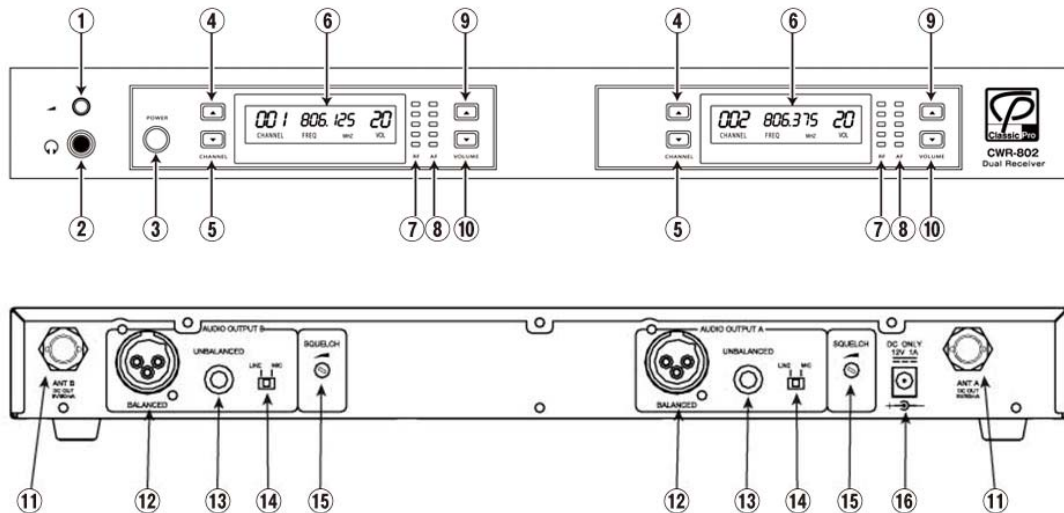
ワイヤレスシステムについて

- セッティングの前に、トランスミッターとレシーバーが同じ周波数に設定されている事を確認してください。
- 複数のマイクを同じ周波数で使用しないでください。
- 電池の液漏れなどによる事故を防ぐため、古い電池の使用は避けてください。
- レシーバー後部にある MIC/LINE スイッチで、ご使用になるミキサー、アンプの入力レベルとレシーバーの出力レベルを合わせてください。
- サウンドチェック時、使用する場所の周辺でマイク(トランスミッター)を動かし、デッドスポットを探してください。デッドスポットがあった場合、レシーバーの位置を変えてください。
- 混信を防止するため、レシーバーを TV、ラジオ、その他ワイヤレス製品や金属製の物のすぐ近くに置かないでください。またマイクとレシーバーの間に障害物を置かないようにしてください。

各部の名称と機能

レシーバー

CWR802 レシーバーは PLL シンセサイザー方式を用い、UHF 帯域の周波数で動作します。
電源は付属の 12VDC アダプターをご使用ください。



- 1. ヘッドホン音量調節：**
ヘッドホンの音量を調節します。
- 2. ヘッドホン出力：**
レシーバーの信号をモニターすることが可能です。
フォン端子のヘッドホンを必要に応じて接続してください。
- 3. 電源スイッチ：**
電源を ON/OFF します。
- 4. チャンネル△ボタン：**
チャンネルを 1 つ先に進めます。
- 5. チャンネル▽ボタン：**
チャンネルを 1 つ前に戻します。
- 6. 液晶ディスプレイ：**
チャンネル番号、周波数、音量レベルを表示します。

7. RF レベルインジケータ:

5つのLEDがRFアンテナで受信した信号の強さを表示します。LEDが多く点灯する程、信号が強い事を示します。LEDがまったく点灯していない場合は、信号を受信していない事を示しています。

8. AF レベルのインジケータ:

5つのLEDが音声シグナルの強さを表示します。緑色は正常動作を示し、赤色はオーバードロードに近い事を示しています。

9. ボリューム△ボタン:

レシーバーの出力レベルを上げます。

10. ボリューム▽ボタン:

レシーバーの出力レベルを下げます。

11. アンテナ・インプット・コネクタ(BNC 端子):

付属のアンテナ、またはアンテナ分離器、アンテナブースターやリモート・アンテナに接続する同軸ケーブルを接続してください。

12. バランス出力(3ピン XLR コネクタ):

マイクレベル、またはラインレベル入力に接続してください。ローインピーダンスのバランス出力となります。

13. アンバランス出力(モノラル・フォン端子):

アンプ等に接続するためのモノラルフォンジャックです。

14. マイク/ライン切り替え:

XLR バランスまたはアンバランスフォンの出力レベルが選択できます。マイク(-20dB)、またはラインレベル(0dB)に設定できます。

15. スケルチ:

無信号時のノイズを遮断します。スケルチが高く設定されると、システムの有効範囲が狭まります。スケルチを最小限に設定してからレシーバーの電源を入れてください。

16. DC 入力:

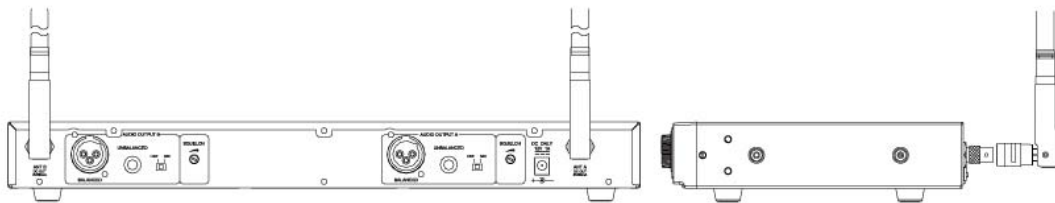
付属の AC アダプターを接続してください。

使用方法

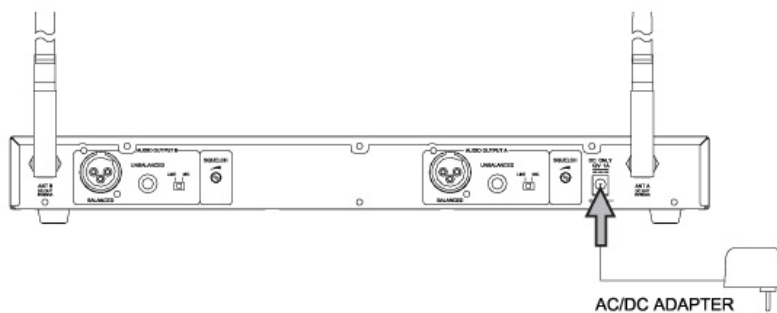
各設定を始める前にトランスミッターとレシーバーが同じ周波数であることを確認してください。同じ周波数に設定された2つ以上のトランスミッターを、同時に使用することは出来ません。尚、使用しているチャンネルに近い周波数のチャンネル使用した場合、混信する可能性があります。

1. レシーバーと電源の接続

- アンテナをレシーバーの BNC ソケットに差し込んでください。固定式アンテナの場合は、上に向けてください。



- 付属の AC アダプターであることを確認してください。間違った AC アダプターを使用した場合は本体が損傷する可能性がありますのでご注意ください。
- AC アダプターのプラグをレシーバーの DC 入力に差し込みます。それから AC アダプターを電源に差し込んでください。



2. 複数台のレシーバーを使用する場合



CWR802 を複数台、同時に使用される場合、以下の点に留意してください。

- 使用するチャンネルの同波数はできるだけ離してください。
- CWR802 は 4 波まで同時に使用することが可能です。
- CWR802 を 4 波同時に使用する場合は、以下の組み合わせの同波数を選択してください。

GROUP1 CHANNEL 1: 806.125 MHz CHANNEL 4: 806.875 MHz CHANNEL 8: 807.875 MHz CHANNEL 13: 809.125 MHz	GROUP2 CHANNEL 2: 806.375 MHz CHANNEL 5: 807.125 MHz CHANNEL 9: 808.125 MHz CHANNEL 14: 809.375 MHz	GROUP3 CHANNEL 3: 806.625 MHz CHANNEL 6: 807.375 MHz CHANNEL 10: 808.375 MHz CHANNEL 15: 809.625 MHz
GROUP4 CHANNEL 4: 806.875 MHz CHANNEL 9: 808.125 MHz CHANNEL 13: 809.125 MHz CHANNEL 16: 809.750 MHz	GROUP5 CHANNEL 1: 806.125 MHz CHANNEL 5: 807.125 MHz CHANNEL 12: 808.875 MHz CHANNEL 15: 809.625 MHz	

3. レシーバーとミキサー、またはアンプ機器の接続

出力の歪みを防ぎ、最良の音質を得るために、以下の通りに音量レベルを調節してください。




	3 ピン XLR、またはフォンプラグの標準的なケーブルでミキサー、またはアンプ機器の MIC 入力に接続する場合はレシーバーのボリュームボタンで音量レベルを 20 程度に調節してください。バランス、アンバランスの出力レベルは約 77mV です。
	3 ピン XLR、またはフォンプラグの標準的なケーブルでミキサー、またはアンプ機器の LINE 入力に接続する場合はレシーバーのボリュームボタンで音量レベルを 32 程度に調節してください。バランス、アンバランスの出力レベルは約 770mV です。

バランス出力端子、アンバランス出力端子のいずれかを使用してください。

同時に使用した場合、レシーバーの音声出力が低下、または、ノイズが増加する可能性があります。

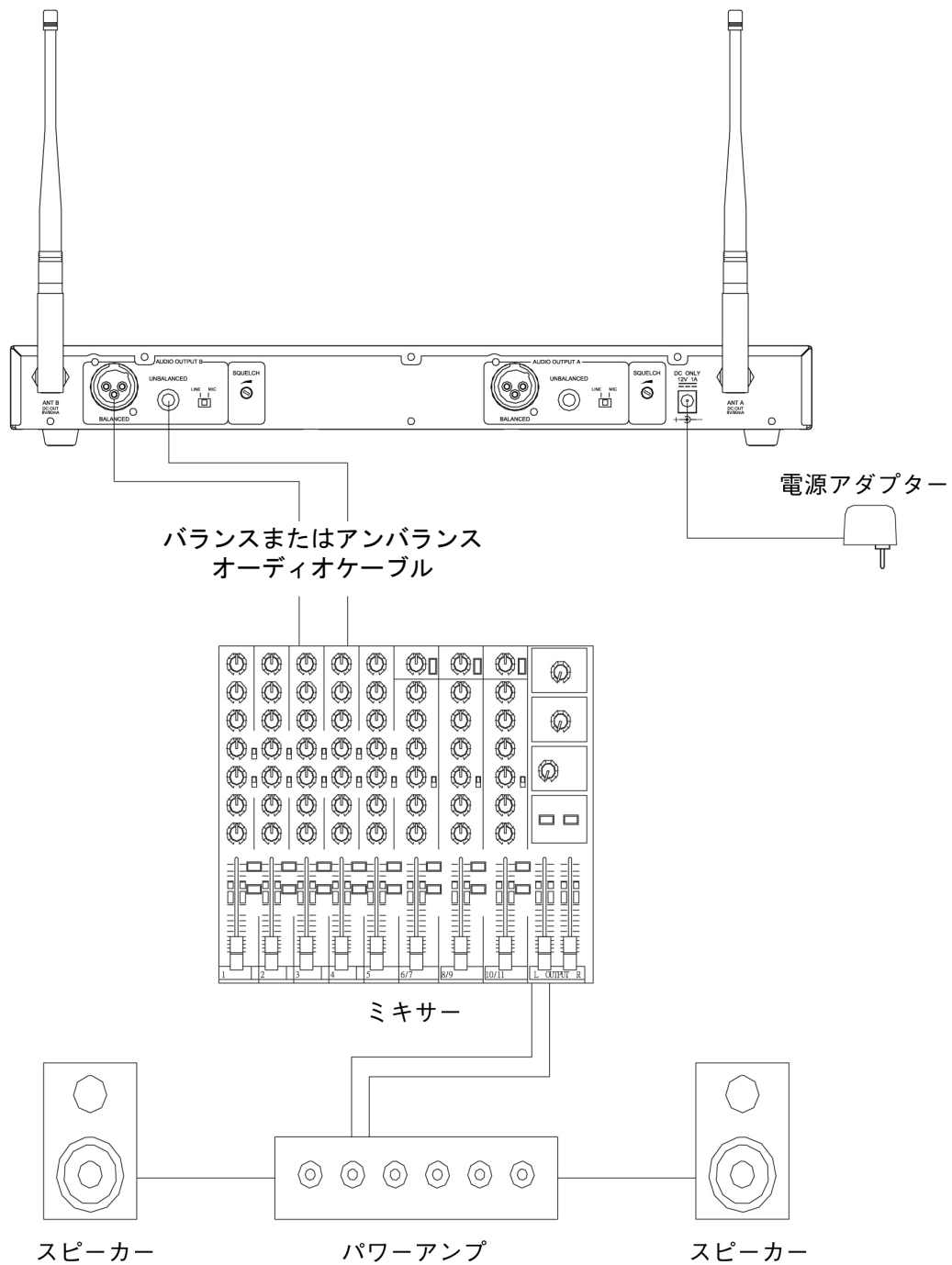
4. レシーバーのチャンネルを設定する

注意：2 つ以上のトランスミッターの周波数チャンネルを設定する場合は、それぞれのトランスミッターを最低でも 1メートル以上離すようにしてください。

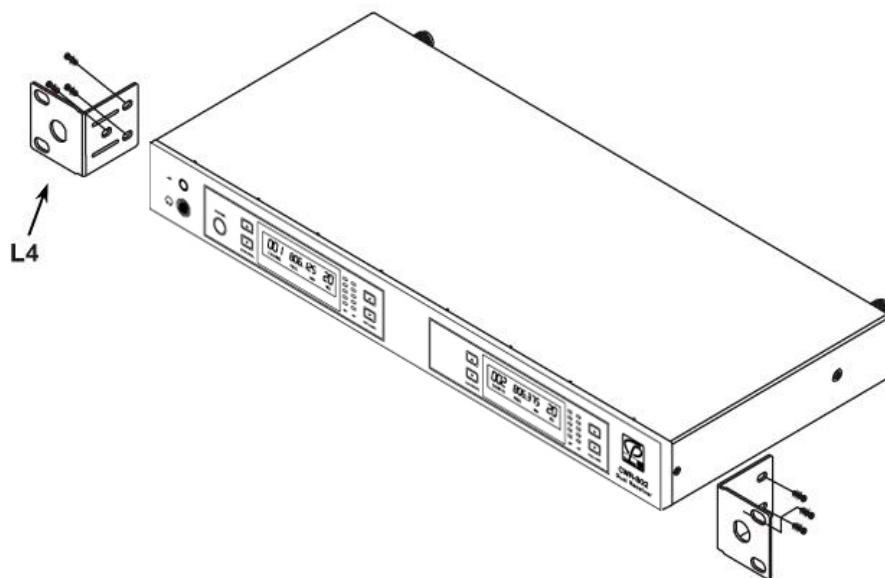
	<p>電源ボタンを押し、電源を入れます。</p>
	<p>△または▽ボタンを 2 秒間押すとチャンネルの設定が可能です。</p>
	<p>△または▽ボタンを押すのをやめ、液晶画面が 3 回点滅したら設定がロックされます。</p>

接続方法

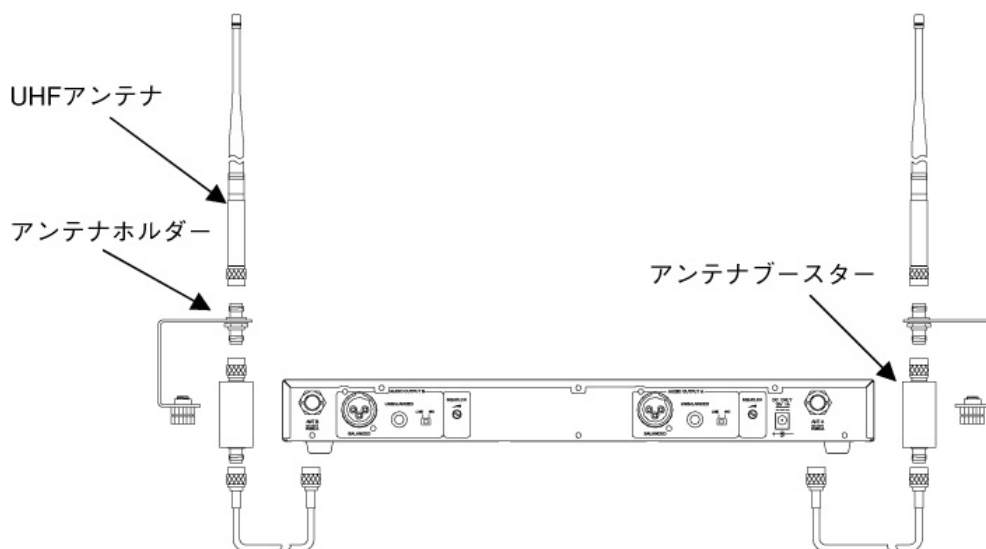
バランスまたはアンバランスのオーディオケーブルで、レシーバーからの出力をミキサーやアンプの入力端子に接続します。バランス出力とアンバランス出力を同時に使用しないでください。音声シグナルの劣化やノイズが発生する恐れがあります。



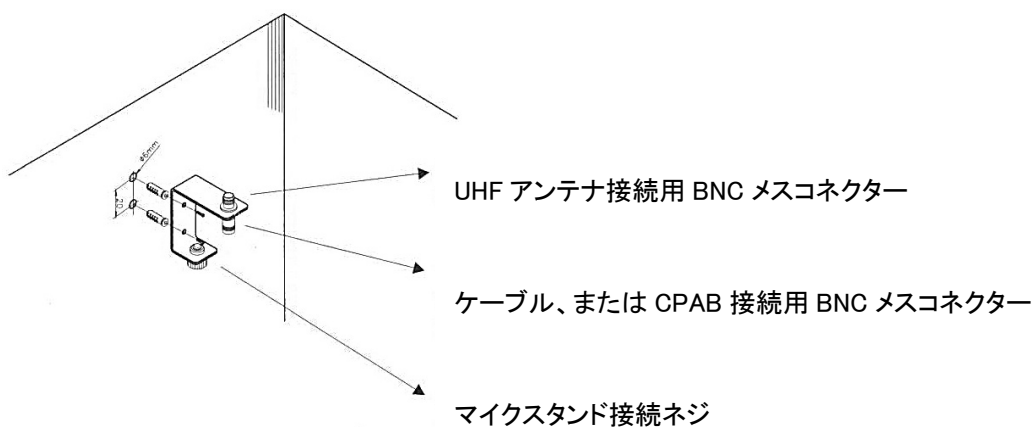
CWR802 を標準 19 インチラックに収納するには、2 枚の短い L 型ラックマウントキット(L4)を使用します。



コンサートホール等、広い場所でご使用される場合は、ブースターアンテナのご使用をお勧めします。アンテナホルダーを使用すればアンテナとブースターを任意の場所に設置する事ができます。特に複数チャンネルでご使用される場合はお勧めです。アンテナブースターはレシーバーからアンテナを取り外し、その間に取り付けます。



アンテナホルダーCPAHは、壁やマイクスタンド等さまざまな場所に取り付けが可能です。



トラブルシューティング

症状	処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・トランスミッターとレシーバーの電源が入っていることを確認してください。・トランスミッターとレシーバーが同じ周波数に設定されている事を確認してください。・接続された機器の電源が入っているか、レシーバーの出力がミキサー、アンプに正しく接続されているか確認してください。・トランスミッターが受信機から離れすぎているか、またスケルチ調整が高くなりすぎているか確認してください。
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">・アンテナの設置場所を確認してください。・2つ以上のトランスミッターを同時に使用する場合は、選択した周波数同士が混信していないか確認してください。・他のワイヤレスマイク、TV、ラジオなどからの混信がないか確認してください。
音が歪む	<ul style="list-style-type: none">・レシーバーのボリュームレベルが高すぎないか、もしくは低すぎないか確認してください。・他のワイヤレスマイク、TV、ラジオなどからの混信がないか確認してください。

仕様

CWR802 レシーバー

送信周波数	UHF 周波帯 806~810MHz
発振方式	PLL シンセサイザー方式
変調方式	FM
周波数安定性	±0.005%
S/N 比	>94dB(偏差 48KHz、60dB μ V アンテナ入力)
最大偏差	±48KHz
イメージ、スプリアス除去	最低 80dB
受信感度	6dB μ V
選択度	>50dB
周波数特性	50Hz~15KHz
THD(全高調歪)	<1% (at 1KHz)
中間周波数	1 st : 243.95MHz、2 nd : 10.7MHz
ダイナミック・レンジ	>96dB
トーンシグナル	32.768MHz
音声出力	バランス、アンバランス
電源	12V DC
消費電力	デュアルチャンネル: 約 400mA

チャンネル構成

CWR802 の送受信周波数チャンネル構成は、以下の通りです。

CHANNEL 1	806.125MHz	CHANNEL 9	808.125MHz
CHANNEL 2	806.375MHz	CHANNEL 10	808.375MHz
CHANNEL 3	806.625MHz	CHANNEL 11	808.625MHz
CHANNEL 4	806.875MHz	CHANNEL 12	808.875MHz
CHANNEL 5	807.125MHz	CHANNEL 13	809.125MHz
CHANNEL 6	807.375MHz	CHANNEL 14	809.375MHz
CHANNEL 7	807.625MHz	CHANNEL 15	809.625MHz
CHANNEL 8	807.875MHz	CHANNEL 16	809.750MHz

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみに有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。